



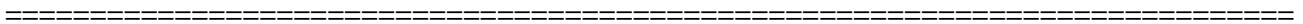
《目次》

◆地層処分を巡る動き

- ・【NUMO】北海道寿都町からの文献調査応募に係る調査の実施見込みの確認結果について

◆その他

- ・【よくあるご質問】地層処分が地上管理より優れている点は何ですか？



◆地層処分を巡る動き



【NUMO】北海道寿都町からの文献調査応募に係る調査の実施見込みの確認結果について

当機構は、北海道寿都町からの文献調査応募（2020年10月9日付）を受け、文献調査に先立つ調査の実施見込みの確認作業を行いました。その結果、応募いただいた地区は、調査の実施見込みがあることを確認したことから、10月15日、北海道寿都町へ回答いたしました。

今後は、文献調査計画書の作成、2020事業年度事業計画の変更認可申請などの手続きを進めてまいります。

詳細は、以下 URL をご覧下さい。

▽文献調査の応募に係る調査の実施見込みの確認結果について

[https://www.numo.or.jp/press/bunkenmikomi\\_kekka.pdf](https://www.numo.or.jp/press/bunkenmikomi_kekka.pdf)



◆その他



【よくあるご質問】

NUMO ホームページに掲載している「よくあるご質問」をピックアップし、紹介します。

今回は・・・

Q. 地層処分が地上管理より優れている点は何ですか？

A.

地層処分を行う地下深部に比べて地上は、地震、津波、台風等の自然災害や戦争、テロ、火災等といった人の行為の影響を受けやすいため、高レベル放射性廃棄物を数万年以上という長期間にわたり地上で

人間が管理し続けることは、社会的、経済的なリスクの観点から適当ではありません。

地下にある物質は主に地下水によって運ばれますが、地下深部では地下水の動きが年間数 mm 程度と極めて遅いため、物質の移動が非常に遅いという特徴があります。

また、多くの物質は岩盤に吸着されやすい性質があるため、地下水によって運ばれる物質の動きは地下水の流れよりもさらに遅くなります。

さらに、地下深部の地下水中の酸素は極めて少ないため、酸化などの化学反応が抑えられ、金属を腐食させにくい、ものを溶かしにくいという特徴があります。

長期的な変化を自然界の類似事例から学ぶ「ナチュラルアナログ」という考え方があり、その事例の一つにカナダのシガーレイクウラン鉱床があります。

シガーレイクウラン鉱床は地下約 450m にありますが、地表でこの鉱床の放射性物質の痕跡が見つかったことはありません。これはウラン鉱床が粘土の豊富な層で覆われていたことにより、粘土が閉じ込め機能を発揮していたためと考えられています。

このような事例や特徴から、地下深部は地上に比べ、物質を長期にわたり安定して閉じ込めるのに適した場所といえます。

▽「よくあるご質問」はこちら

[https://www.numo.or.jp/q\\_and\\_a/](https://www.numo.or.jp/q_and_a/)

=====

☆NUMOメールマガジンのご感想やご意見をお待ちしております

[webmaster@numo.or.jp](mailto:webmaster@numo.or.jp) までどうぞ！

\*\*\*\*\*

NUMOホームページ：<https://www.numo.or.jp/>

YouTube：<https://www.youtube.com/ChannelNUMO/>

Facebook：<https://www.facebook.com/numojp/>

Instagram：<https://www.instagram.com/numo.jp/>

\*\*\*\*\*

メールマガジン解除は「メルマガ解除」と件名記載のうえ下記アドレスへご連絡ください

[webmaster@numo.or.jp](mailto:webmaster@numo.or.jp)

\*\*\*\*\*